

4. 外科臨床研修プログラム

1. プログラムの目的と達成目標

目標： 良識ある医師、特に外科に必要な知識と技術を修得する。

達成目標

- (1) 外科用語の修得、外科カルテ（臨床経過、手術所見）が記入できる。
- (2) 外科疾患の診断と治療の判断ができる。
- (3) 外科手術、虫垂炎、ヘルニア、痔核の担当医となれる。
- (4) 消化器外科、一般外科、救急外科の補助ができる。

2. 研修期間：2年次必修科目（1ヶ月）

3. 週間スケジュール

	午前	午後	午後18時以降
月	手術	手術	術後回診
火	手術	手術	
水	総回診・手術	手術	術後回診
木	手術	手術	症例検討会、勉強会
金	手術	手術	週末回診
土、日	<指導医の当直、手術時は出勤する。>		

4. 手術内容と年間手術件数

年間手術件数：2013年(482例)、2014年(478例)、
2015年(520例)、2016年(453例)
2017年(475例)

消化器外科手術件数：食道癌(10例)、胃癌(50例)、大腸癌(100例)、肝癌(15例)、胆・膵癌(10例)、胆石(90例)、虫垂炎(20例)、ヘルニア(90例)、痔疾患(30例)ほか

* 主治医になった患者では、よく予習して手術に望むこと。
そのためには、普段から手術を見学し、マスターすること。

5. 学会出席、学会発表、論文作成

学会出席：日本外科学会、日本消化器外科学会、近畿外科学会など

研究会出席：院内症例検討会、講演会、和歌山県立医科大学の研究会など随時

学会発表：研修の成果として、症例報告、論文作成をする。

(スライド作成から学会発表、論文作成を丁寧に指導を受ける。)

6. 研修の評価

外科の自己評価表および指導医の評価表にて、毎月判断する。

7. 学会による施設認定

日本外科学会専門医制度修練施設 日本消化器外科学会専門医修練施設
日本消化器病学会認定施設

8. その他

- (1) その後の研修によっては、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本消化器病学会の専門医取得が可能となる。
- (2) 医学研究や医学博士取得を希望される方は、和歌山県立医科大学第二外科教室へ紹介する。